

# 令和3年度第4回清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会 議事録

日時: 令和4年3月22日(火)

14:00～15:00

場所: 岐阜県水産会館 大会議室

## 1 開会

[司会 (須川 恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係長)]

それでは定刻となりましたので、ただいまから会議を開催いたします。

本日は、清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会の開催にあたり、ご多忙のところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます、恵みの森づくり推進課の須川と申します。よろしくお願ひいたします。

本日は、団体等から申請があった事業についての審査案件がございますので、非公開で開催をさせていただきます。

また、本日の資料につきましては、審議会終了後、事務局にて回収をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、開会にあたり林政部長よりご挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

[高井 林政部長]

(あいさつ) ～略～

[司会]

続きまして、本審議会の小見山会長からご挨拶をお願いいたします。

[小見山 会長]

皆さんこんにちは。

林政部長からお話のあった2件について審議していきますが、この清流の国ぎふ地域活動促進事業に対しては、応募件数がどんどん増加しているようです。大変うれしいことです。この清流の国ぎふ森林・環境基金事業の機動力を増すという意味で、大変意味のある事業だと思っています。

分厚い資料になっていますが、それだけ応募団体の皆さんが計画を立てる時点から、自らを磨いて下さったことがわかり、良いことだと思います。

今日はよろしくお願ひいたします。

[司会]

ありがとうございました。

本来であれば、委員の皆様方のご紹介をさせていただくところですが、時間の都合上、事務

局も含めまして、お手元の出席者名簿に代えさせていただきます。

また、徳地委員におかれましては、リモートによるご参加となりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、「令和4年度清流の国ぎふ地域活動促進事業の採択について」のご審議をお願いいたします。

また、その他として、「第3期清流の国ぎふ森林・環境基金事業の効果検証に係るアンケートについて」のご説明をさせていただきます。

それでは、このあとの会議の進行につきまして、小見山会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 3 議 事

#### [小見山 会長]

それでは、ただ今から会議を進めてまいります。

議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

はじめに、「令和4年度清流の国ぎふ地域活動促進事業の採択について」です。

事務局から説明をお願いします。

#### ●令和4年度清流の国ぎふ地域活動促進事業の採択について

##### [説明（長屋 恵みの森づくり推進課長）]

（資料1、2、3により説明）

～略～

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

#### ●第3期清流の国ぎふ森林・環境基金事業の効果検証に係るアンケートについて

##### [説明（長屋 恵みの森づくり推進課長）]

（資料4により説明）

～略～

#### [小見山 会長]

はい。どうでしょうか。委員の皆さん何かご意見ありますか。

これはどういう趣旨ですか。アンケートを取れば、その事業の達成度が上がったかどうか分かるということでしょうか。

#### [長屋 恵みの森づくり推進課長]

各事業の評価シートの中に、効果検証という欄がありまして、その効果検証の方法として、いろんな効果検証の方法がありますが、多くの事業でこのアンケート調査というのを、効果検証の方法として挙げています。その中でどういった内容を検証するか、それに対してどんなアンケートするのか、十分に内容を検討するようにとのご質問がありましたので、それらについ

て、今日お示ししたというところです。

**[小見山 会長]**

今の話でいうと、達成度が上がったかどうか、効果が上がったかどうかというところを聞いているわけですね。

ただ、そのアンケートを回答するのに、○をつけるだけでも大変な作業をお願いするということになると思います。この点に注意しなければなりません。

私が思うのは、その問題点をどう感じているかということが、事業主体であり、受益者にどう伝わっているのかということが知りたいなと思いました。

非常に細かいこと言うと1-①危険木の除去、バッファゾーンの整備について。バッファゾーンはどのような指針で、樹木を伐採していくわけですか。多分、下層木は、ほとんどのものを伐ってしまい、上層木も立木を何か残すというようなやり方だと思いますが、そういうものは事業主体にどれだけ指針が明確に伝えられていて、それをちゃんとやったのか、そういう理解がどこまで浸透しているのかというのが、一番気になるところです。

そういうところが、このアンケートではあまり聞けてないような気がします。アンケートというのは何回も繰り返すことできませんから、質問項目はかなり慎重にやっていかないといけないし、それから何人に出すかなど、アセスする時のことも考えて実施しなければならいと思います。

この辺はどうでしょうか。

我々は現状の効果だけを聞くにとどまらずに、事業の改良という点で重要な情報を聞き出すべきだと思います。事業の管理、改良など。

**[笠井 委員]**

今の会長さんの問題提起にも関係しますが、回答者という欄が気になりました。森林部門では、管理者っていう項目が目について、環境部門では参加者となっていて、要は二通りの効果検証の要素があると思います。やはり一般の県民の税金ですから、その方にストレートな感想を求めるというのは必要だと思います。

こういう事業は皆さんから集めた森林・環境税を基金にしてやっている事業で、それについてはどう思いますか、中身は適切ですといった一般向けと、それに対して、実際管理というのは申請者みたいなものですよね。申請者として事業をどう捉えているか。そういうようなことの両面が、検証や改善のために必要だと思います。

更に参加者にも、これもう少し何か改良した方がいいような点が、思いついたら教えてくださいみたいなことを聞くと、両面から改善に向けたヒントがえられるかもしれないです。改善のヒントを得ることが、大事だと思います。

以上です。

**[小見山 会長]**

はいありがとうございます。他いかがですか。

要するに事務局側がここを聞きたいという内容を聞くべきで、事業に対する問題点などの質

間をもっと集約的にアンケートへ入れていくのも一つの方法であると思います。

やってよかったで、済むのはアンケートとしてあまり効果はないと思います。

**[長屋 恵みの森づくり推進課長]**

アンケート調査につきましては資料を見ていただくと、今、笠井先生も言われましたように、事業の主催者に対して意見を取るものと、参加者、実際にセミナーに来た方とかシンポジウムに来た方を取るものと、いろいろ混ざっているのですが、事業主体に聞くものにつきましてはこの事業をより良くしていくために、ヒントにしたいというのが一つありますので、そういった点を聞けるようにするために、最後にその他ご意見があったかという質問で、忌憚のない意見をいただけるようにしています。

参加者全体に対して聞くものにつきましては、皆さんの考え方一般的な考え方を集約するというようなイメージもあり、対象者によって、目的が違っているところはあると考えています。

**[小見山 会長]**

ありがとうございました。他ご意見いかがですか。

**[徳地 委員]**

評価については、我々も苦勞するところです。効果の検証で、ご意見、ご感想という質問が、回答者にとってなかなか書きにくい部分があると思います。

そこで最近よく実施されている手法としては、「あなたがこの事業で効果があった、或いは考えが変わったきっかけの、キーワードや事例があったらお書きいただけますか」というような質問を設けて、具体的などころを書いていただくようにしています。

この言葉によって、テキストマイニングをして、その言葉の前後でどんなふうに変ったかという解析が可能になる場合がありますので、もしよろしかったら、その他ご意見のところに、「考えに影響を与えたようなキーワードがこのシンポジウムなんかでありましたらご記入ください」のようなご質問をしていただいたらどうかと思いました。

以上です。

**[小見山 会長]**

はいありがとうございました。

今のような意見を、もう一度、考えていただいて、アンケートの内容を磨いていただくのがいいかもしれませんね。せつかくやるならば、いろんな人の意見が、そして我々の聞きたいことも聞けるような、やり方をやったほうがいいような気がします。

他の委員いかがですか。

**[木田 委員]**

ちょっと項目で気になったのが、例えば2ページ（里山林整備事業）の間3で、「1 非常に向上した」、「2 ある程度向上した」は理由が無くて、3番から理由を書かせるようにすると、正直、回答者は3番、4番に○をつけるのはちょっと難しいかなと思いました。

それとあと、例えば35ページのカーボンオフセットセミナーは2択になっていますね。

「理解できた」、「理解できなかった」ということで、しかもそのカーボンオフセットの参加者は企業とか団体等っていうふうになっていますと、「理解できなかった」というところに、果たしてチェックができるのかという疑問は感じました。

**[小見山 会長]**

ありがとうございました。

そういうところを磨き直していただいたら、いいと思いますね。

**[竹中 委員]**

私もアンケートに参加したりすることがありますが、まず回答時間がないため、出していない人がほとんどだったりしてね。その点を気にする必要はあると思います。

**[杉山 委員]**

私たちもアンケート随分やって、いろいろな結果をテキストマイニングすることもありますけど、アンケートの縦の項目としてそれぞれ検証をするということと、もう一つは、なかなか難しいですけど、横の検証をするということで、できるだけ共通して検証できるような質問があるといいと思います。例えば、「理由は何ですか」とか「きっかけは何ですか」というそういうちょっとした似たような質問項目を、できるだけ揃えると最終的な統計をとったときに、比較検証できます。横の流れを見ることも、たまに大事なときがあります。縦と横で整理できるようなアンケートを作ることを少しでも何か目指していただければ、共通項があればできるだけ共通項で、分野的に括っていくっていうこともできると思いますので、ちょっとその辺だけお願いとして言わせていただきました。

**[小見山 会長]**

ありがとうございます。

集計時のこともよく考えて、質問項目を書きなさいということですよ。よろしく願います。

この点に関してはどうですか。ちょっと改良の余地がある、お考えくださいということで、収めてよろしいですか。

長時間にわたって、意見をいただいてありがとうございました。

これを持ちまして議事を終了してよろしいでしょうか。

※ [中略] 審査案件事項のため非公開

**[司会]**

小見山会長、議事進行ありがとうございました。

長時間にわたり熱心にご議論いただきましてありがとうございました。

それでは閉会にあたりまして、環境生活部次長からお礼を申し上げます。

[青竹 環境生活部次長]

(あいさつ) ～略～

[司会]

以上をもちまして、本日の会議はすべて終了いたしました。

会議の冒頭でお願いいたしましたとおり、今回の審議会にかかる資料は回収させていただきます。

資料はその場に置いてお帰り下さい。

なお、本日の議事録につきましては、後日、まとめて皆様にお送りするとともに、県のホームページの方に掲載したいと思いますのでよろしくお願いします。

以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。